

北海道大学大学院経済学院  
会計情報専攻（専門職大学院）入学試験

平成30年度 専門科目（選択科目）試験問題

試験期日：平成29年8月29日

試験時間：10時50分～12時20分

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は、

会計学	2ページ
経済学	3～4ページ

である。
3. 問題冊子の中から出願時に選択した科目について解答しなさい。
4. 受験番号、氏名、選択科目名は、監督員の指示にしたがって解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 解答用紙に解答する際に、問題番号・記号があれば解答の前に必ず記入しなさい。
6. 解答用紙が不足した場合には挙手して監督員に連絡しなさい。
7. 試験場退出は試験開始30分が経過するまで認めない。

## 会計学

問題Ⅰ，問題Ⅱの両方に解答しなさい。

問題Ⅰ．以下の1と2の両方に答えなさい。

1. 金融商品取引法会計の目的について説明しなさい。
2. 貸借対照表における区分基準における貨幣性資産と非貨幣性資産について説明した上で、時価が重視される現在、これらの区分基準における限界があれば指摘しなさい。

問題Ⅱ．以下の1，2のうち、いずれか1問を選んで解答しなさい。解答に際しては問題の番号を付しなさい。

1. 材料費会計において予定価格を利用するメリットを、実際価格を利用する場合と対比させながら説明しなさい。
2. 以下の(1)，(2)の両方に答えなさい。
  - (1) わが国の『監査基準』の一般基準3は、「監査人は、職業的専門家としての正当な注意を払い、・・・(以下、省略)」と規定している。この規定にある「正当な注意」の意味、ならびに監査人に「正当な注意」が求められる理由を説明しなさい。
  - (2) 「監査上の重要性」の意味ならびに監査リスクとの関係を説明しなさい。

## 経済学

問題Ⅰ，問題Ⅱの両方に解答しなさい。

問題Ⅰ．海外部門を捨象した総需要・総供給モデルを考える．以下のすべての問いに答えなさい。

1. 総需要曲線が右下がりになる理由を説明しなさい。
2. 総供給曲線に関する次の2つの問いに答えなさい。  
(1)短期総供給関数が次のように与えられるとする。

$$Y = \bar{Y} + \alpha(P - P^e), \quad \alpha > 0$$

ここで、 $Y$  は生産量、 $\bar{Y}$  は自然率生産量、 $P$  は物価水準、 $P^e$  は期待物価水準である。短期総供給曲線を図示し、同じ図に長期総供給曲線を示しなさい。

- (2)インターネットの普及などにより労働者の情報収集能力が飛躍的に向上したとする。このとき、短期総供給曲線がどのように変化するかを、労働者錯誤モデルに基づいて説明しなさい。
3. 短期総供給関数が小問2の(1)と同様に与えられるとする。拡張的な財政政策と金融緩和政策が国民所得と物価水準に与える短期的な効果を、背後にある IS-LM 曲線の変化とともに説明しなさい。

問題Ⅱ． $x_1$  財と  $x_2$  財を消費するある個人の効用関数が

$$U(x_1, x_2) = x_1 x_2$$

で示されるものとする。 $x_1$  財の価格は 4、 $x_2$  財の価格は 3、個人の所得は 72 である。以下のすべての問いに答えなさい。

1. 上記の条件のもとで、個人の効用を最大化する需要量  $(x_1^*, x_2^*)$  を求めなさい。
2.  $x_1$  財の価格が 4 から 9 に上昇したとする ( $x_2$  財の価格は 3 のままである)。このとき、新しい価格比のもとで、価格上昇前の効用水準を維持するために必要な所得の最小値を求めなさい。またその条件のもとでの、 $x_1$  財、 $x_2$  財の需要量  $(x_1^{**}, x_2^{**})$  を求めなさい。

3. 新しい価格比のもとで、所得が 72 と変わらない場合の、この個人の効用を最大化する需要量  $(x_1^{***}, x_2^{***})$  を求めなさい。
4.  $x_1$  を横軸、 $x_2$  を縦軸とした座標平面上に、小問 1～3 で示される  $x_1$  財の価格上昇の効果を図示しなさい。さらに、 $(x_1^*, x_2^*)$  は A 点、 $(x_1^{**}, x_2^{**})$  は B 点、 $(x_1^{***}, x_2^{***})$  は C 点として、図中に表示しなさい。
5. 上記の  $x_1$  財の価格の上昇 (4→9) が、 $x_1$  財の需要に与える代替効果と所得効果をそれぞれ求めなさい。